

問1 7世紀前半の推古天皇の時代、聖徳太子（厩戸王）らによって進められた国家体制の整備とともに発展した飛鳥文化について述べた文として、正しいものはどれですか。（2020年 京都公立入試 類似）

1. 現存する世界最古の木造建築物とされる法隆寺が建立され、大陸の影響を受けた仏教文化が花開いた。
2. 最澄によって比叡山に延暦寺が建てられ、平安京を守護する国家仏教としての役割を果たした。
3. 藤原頼通によって宇治に平等院鳳凰堂が建立され、極楽往生を願う浄土信仰が貴族の間に広まった。
4. 奥州藤原氏が陸奥国の平泉に中尊寺金色堂を建立し、北方の地における仏教の理想郷を目指した。

問2 663年に朝鮮半島で行われた白村江の戦いにおいて、百済の復興を支援した倭（日本）の軍勢が唐・新羅の連合軍に大敗したのち、大和政権が日本本土への侵攻に備えて講じた防衛策として最も適切なものはどれですか。（2025年 奈良公立入試 類似）

1. 九州北部の沿岸部に水城や朝鮮式山城を築き、防人を配置した。
2. 東北地方に多賀城を築き、蝦夷の反乱に備えて鎮守府を置いた。
3. 元寇の襲来に備えて、博多湾の沿岸に石造りの防塁を築いた。
4. 平安京を守るために、検非違使を設置して治安維持にあたらせた。

問3 大化の改新で示された「公地公民」の制度が、のちに崩れていく要因となった出来事について説明したものととして、最も適切なものはどれか。（2021年 和歌山公立入試 類似）

1. 人口の増加にともなう土地不足を解消するため、開墾した土地の永年私有を認める「墾田永年私財法」が出されたこと。
2. 武士が各地の土地を支配し、年貢の徴収権を確保するために「武家諸法度」を定めて統制を強めたこと。
3. 明治新政府が土地の所有権を認め、地価の3%を現金で納めさせる「地租改正」を実施したこと。
4. 聖徳太子が冠位十二階を定め、氏姓制度にとらわれず個人の能力によって役人を登用し始めたこと。

問4 7世紀半ばの朝鮮半島は、北部の高句麗、東部の新羅、南西部の百済が対立していました。白村江の戦いにおいて、日本が支援した国と、日本が戦った連合軍の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2024年 香川公立入試 類似）

1. 支援した国：百済、連合軍：唐・新羅
2. 支援した国：新羅、連合軍：唐・百済
3. 支援した国：高句麗、連合軍：隋・新羅
4. 支援した国：百済、連合軍：高句麗・新羅

問5 飛鳥時代、聖徳太子が小野妹子を中国の隋に派遣した歴史的背景と目的の説明として、最も適切なものはどれですか。（2021年 熊本県公立入試 類似）

1. 大陸の進んだ制度や仏教文化を直接取り入れ、天皇を中心とした政治制度を整えるため。
2. 白村江の戦いでの敗北を受けて、唐や新羅の侵攻に備えた外交交渉を行うため。
3. 菅原道真の提言に基づき、形式的な外交を廃止して国内の政治改革に専念するため。
4. 阿倍仲麻呂を隋の皇帝に紹介し、日本の律令制度が完成したことを報告するため。

問6 「和を以て貴しとなし」という言葉から始まり、仏・法・僧の三宝を敬うことや、天皇の命令を受けた際には必ずそれに従うべきことなどが役人の心得として示された、聖徳太子（厩戸王）が定めたとされる規範を何といいますか。（2022年 秋田県公立入試 類似）

1. 十七条の憲法
2. 大宝律令
3. 御成敗式目
4. 武家諸法度

問7 645年に始まった政治改革において、中大兄皇子らが進めた「天皇を中心とした国づくり」の具体的な内容として、最も適切な説明はどれですか。（2026年 愛媛公立入試 類似）

1. 土地や人民は豪族が私有するのではなく、すべて国家のものとする公地公民の原則を打ち出した
2. 地方の豪族に土地の支配権を完全に委ねることで、各地域の農業生産力を向上させた
3. 武士の力を結集して幕府を開き、貴族に代わって武家が政治の主導権を握る仕組みを作った
4. 実力のある人物を役人に登用するため、冠位十二階の制度をより強化して豪族の特権を認めた

問8 大化の改新の中心人物であった中大兄皇子が、のちに即位して天智天皇となった際に、律令国家の基礎を築く目的で作成した日本最初の全国的な戸籍の名称として正しいものを選びなさい。（2021年 滋賀公立入試 類似）

1. 庚午年籍
2. 庚寅年籍
3. 班田収授法
4. 十七条の憲法

問9 663年に朝鮮半島で起こった白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に敗れた後、大和政権は九州の防衛を強化しました。このとき、博多湾から太宰府へ侵攻してくる敵を防ぐために築かれた、全長約1.2kmに及ぶ大規模な土塁と堀で構成された防衛施設を何といいますか。（2018年 福島県公立入試 類似）

1. 水城
2. 防人
3. 山城
4. 烽火

答え合わせ・解説

問1	答え 1 現存する世界最古の木造建築物とされる法隆寺が建立され、大陸の影響を受けた仏教文化が花開いた。	法隆寺は聖徳太子によって建立されたと伝えられる奈良県斑鳩の寺院で、その西院伽藍は現存する世界最古の木造建築群として知られています。この時期の文化は「飛鳥文化」と呼ばれ、中国や朝鮮半島、さらにはその先の西アジアなどの影響を受けた国際色豊かな仏教文化であることが特徴です。他の選択肢にある延暦寺は平安時代初期、平等院鳳凰堂は平安時代中期、中尊寺金色堂は平安時代末期の建築物であり、時代背景が異なります。
問2	答え 1 九州北部の沿岸部に水城や朝鮮式山城を築き、防人を配置した。	白村江の戦いで敗北後、大和政権は唐や新羅による日本本土への報復的な侵攻を強く恐れました。そのため、対馬や九州北部に「防人（さきもり）」と呼ばれる兵士を配置し、大宰府の北側に「水城（みづき）」という巨大な土塁を、さらに周辺の山々に朝鮮式山城を築くことで、防衛体制を急ピッチで整えました。
問3	答え 1 人口の増加にともなう土地不足を解消するため、開墾した土地の永年私有を認める「墾田永年私財法」が出されたこと。	公地公民の原則では、土地はすべて国家のものでしたが、人口の増加によって人々に与える「口分田」が不足しました。そこで政府は、743年に「墾田永年私財法」を制定し、新しく開墾した土地の私有を永代にわたって認めました。これにより貴族や寺社が大規模な私有地（荘園）を持つようになり、公地公民の原則は次第に崩れていきました。
問4	答え 1 支援した国：百済、連合軍：唐・新羅	当時の東アジアでは、中国大陸を統一した唐が勢力を拡大しており、朝鮮半島では新羅が唐と結んでいました。日本は古くから交流のあった百済の復興を助けるために参戦しましたが、唐と新羅の強力な連合軍に敗れました。
問5	答え 1 大陸の進んだ制度や仏教文化を直接取り入れ、天皇を中心とした政治制度を整えるため。	聖徳太子は冠位十二階や十七条の憲法を制定し、豪族中心の政治から天皇中心の政治への転換を図っていました。遣隋使の派遣は、その改革のモデルとなる中国の高度な政治制度や、国家の精神的支柱としての仏教を学ぶための重要な外交手段でした。選択肢にある菅原道真は遣唐使の停止を提言した人物であり、阿倍仲麻呂は遣唐使として渡った人物なので、時代や背景が異なります。
問6	答え 1 十七条の憲法	飛鳥時代、推古天皇の摂政であった聖徳太子が、豪族たちに対して国家の役人としての自覚を促すために作成したものです。それまでの氏族単位の政治から、天皇を中心とした中央集権的な国家体制へと移行するための道徳的な規範として機能しました。この中では、儒教や仏教の教えが取り入れられています。
問7	答え 1 土地や人民は豪族が私有するのではなく、すべて国家のものとする公地公民の原則を打ち出した	大化の改新では、当時の中国（唐）の制度を参考に、それまで豪族が個別に支配していた土地や人民を国家が直接管理する「公地公民」の制度を目指しました。これにより、全国的な徴税や戸籍の作成が可能になり、天皇による中央集権体制の基礎が築かれました。
問8	答え 1 庚午年籍	天智天皇は、670年に日本で初めてとなる全国的な戸籍である「庚午年籍（こうごねんじゃく）」を作成しました。これは、国家が民衆の氏姓や人数を正確に把握することで、安定した税の徴収や徴兵を行うための重要な基盤となりました。後の天武天皇の時代に作られた「庚寅年籍」と混同しないよう注意が必要です。
問9	答え 1 水城	白村江の戦いで敗北した大和政権は、唐や新羅による日本本土への侵攻を強く警戒しました。特に九州の政治・外交の拠点であった太宰府を守るため、その北側に巨大な堤防のような土塁を築き、さらに外側に水を蓄えた堀を設けることで、博多湾方面からの敵の進入を阻止しようとした。この施設は「水城」と呼ばれ、現在の福岡県にその遺構が残っています。